

## 8. 京田辺市茶生産者聞き取り調査

京都府立大学文学部地理学研究室

### 1. 概要

京田辺市史の調査の一環として、京田辺市域の茶生産者のうち4名の聞き取り調査を予定していたが、新型コロナウイルスの流行により、2021年度は下記1名への実施となった。

・2022年1月11日（午前）KT氏への聞き取り調査

京都府立大からの参加者：永久陽菜（3回生）・上杉和央（教員）

### 2. 成果

宇治茶のなかでも玉露産地として著名な京田辺市域の茶農家が、どのような経営戦略をとっているのかについて、主に農地の所有（耕作）状況から聞き取りをおこなった。聞き取りを実施できたKT氏は、現在、3カ所に分散して茶園を所有している。それは茶摘みの時期を微妙にずらすことで、適切な摘採時期に労働力を確保できる工夫であることが確認できた。こうした点はこれまでの近代史料の調査で確認できていたことであり、現在もなお同じような工夫が継承されていることが明らかとなった。

今回、新型コロナウイルスの流行により、予定していた聞き取りのすべてをおこなうことは叶わなかった。流行の収束後に改めて調査をおこない、他の茶農家の状況についても確認することに努めたい。

なお、成果については、京田辺市史に反映させていく予定である。



図1 聞き取り調査の様子  
(2022年1月11日)